

(大正10年4月22日第3種郵便物認可 昭和17年6月15日発行(毎月1回15日発行))

建築學會
17.18.6
月刊

滿洲建築雜誌

第二十二卷 第六號



建築は建築のみの問題に非ず
熱氣式暖房厨爐とその住宅への應用
屋内待避所の位置について
帶繫桁横架材を有する「ラーメン」の
解法(1)

社 法 國 入 滿 洲 建 築 協 會

②



高礬土質耐火煉瓦

S.K.#3G
以上

沙石土質耐火煉瓦

S.K.#30-35

耐酸煉瓦各種
鋪道煉瓦各種
專賣許 鐵筋煉瓦各種
空 洞 煉瓦各種
機 械 製 煉瓦各種

營口窯業株式會社

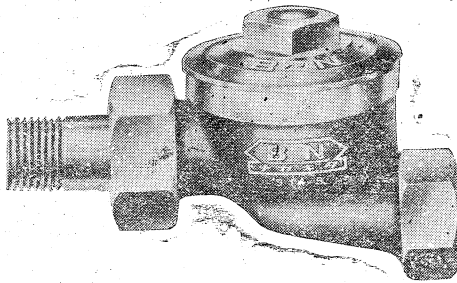
大連工場・大連市春橋區三春橋一番地
電話(4)1097・(4)2202 (4)2836
新京工場・新京特別市長春區東安屯
電話(3)4708



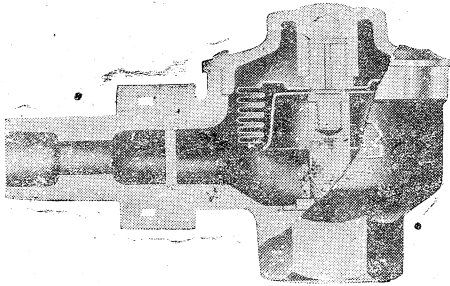
株式會社
中北製作所

放熱器用 **スチームトラップ**

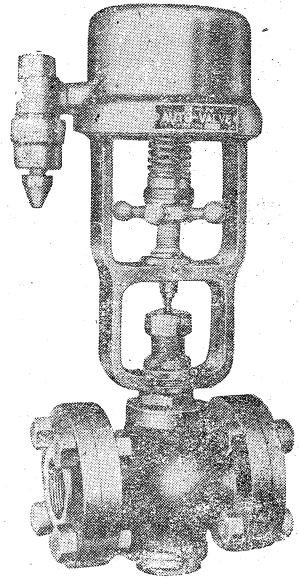
自働排水 減 壓 弁
不凍式



BN 914-S型
スチームトラップ



BN 914-A型
スチームトラップ



BN 421 號型
不凍式減壓弁

溫度・濕度・壓力・水準により操作
する各種自働スキャッチ・バルブ八拾
餘種製作.....

型 錄 進 呈

株式會社 中 北 製 作 所

本社・工場 大阪市旭區蒲生町三丁目 電話堀川2713・2714・2715・5508番
東京營業所 東京市芝區金杉町四ノ二二 電話三田 1510番

滿 關 代 理 店

株式會社 安宅商會機械部
奉天市浪速通二八(都ビル)
大連市山縣通二(東拓ビル)
新京特別市八島通三八

滿 關 販 賣 店

株式會社 坂 井 忠 商 店
新京市興安通三〇 電話代蒙②2518
奉天市鐵西區嘉工街一段八 電話⑤3624
大連市但馬町八〇 電話②2321
電話②6007

(技術員常時駐在し技術上の御相談に應じて居ります)

滿洲建築雜誌 第22卷 第6號

目 次

本 文

- 建築は建築のみの問題に非ず……………岡 大 路…(1)
- 熱氣式暖房厨爐とその住宅への應用……………矢 崎 高 儀…(2)
- 屋内待避所の位置について……………伊 藤 甫…(9)
- 帶繫桿橫架材を有する「ラーメン」の解法(1)……………服 部 逸 治…(17)

時 報

- 農林省用材規格規程の計量法をメートル法に改正方建議……………(28)
- 協和會科學技術聯合部會建設研究部會……………(28)
- 社團法人關東州建築士會發會式……………(29)
- 滿鐵鐵道建築會大連支部結成式……………(30)

會 報

- 本 部……………(31)
- 新 京 支 部……………(31)
- 哈 爾 濱 支 部……………(33)

建築は建築のみの問題に非ず

岡 大 路

建築士とは、建築技術家とは、建築注文者即ち施主の依頼を受けてその計畫を立て施工の監督に當るもの、又施工者は圖面仕様書により施主と契約を結び建築士の監督を受くるものであると云ふことは、建築界に於ける今日までの傳統的業態であつて、世の建築家諸君はそれに對して最も忠實にその能力天分を發揮し來つたのである。又建築といふものに對する社會一般の通念もさうであつて、建築家と云ふものは依頼された個々の建築に對してその計畫と施工を取り扱つて呉ればよいと云ふ有様で、その間には特に建築家の個性表現が尊重されて來た様なこともあつた。

單に個々の建築に對し、自由思想と自由經濟の渦中にあつて自由に計畫し施工し得る時代に於てはそれで宜しかつたかも知れぬ、又それが本望であつたとも見られるが、然し今日の時代は大東亞戰爭の完遂と大東亞新秩序の建設と云ふ我國史上未曾有の非常時局に際會し、諸般の問題に對し國家の總力を擧げて當らなければならぬ時代である。そこに我が建築と云ふ問題に對しても、單に注文を受たからと云ふのではなしに、常に國家的全體性より見たる企畫統制と云ふ觀點からして調査研究を遂げ、その建築計畫を立てなければならぬのである。

建築材料にして見た所が材料屋に相談すれば何時でも得られるといふ時代ではなくなつた。工人にしても統制が次第に行き渡りつゝあり、建築計畫も逐次規格化されつゝある現況に於ては、須らく活眼を開いて建築の現状を國家的見地より検討し計畫を立て、更に施工に對する統制と經濟の問題を研究す可きである。

即ち今日の建築と云ふものは、今までの所謂ゆる建築計畫を立つる前に國家總力的の建築企畫が考慮されねばならぬ。軍事産業交通、社會施設や國民生活等有らゆる觀點からして建築の諸問題につき國家全體的の立場より調査研究を遂げ、且つその經濟事情と統制組織を調整することを建築家の持つ可き當然の責任と觀じて進む可きであらう。

この様な問題は私が茲に提言するまでもなく、今日の建築家諸君はよく熟知して居られる筈であるのに、建築界全體の運動としては頗る緩慢であり且つ他の工業界に比べて可なり遅れをとつて居る様に見ゆる。それと云ふのも吾々の腦裏の中には現代思想と經濟觀念の轉換が充分に洗鍊されて居ない爲めではあるまいか。これは問はず語りに落ちる筆者丈けの問題であるかも知れぬが、厚面井蛙の言として御聽き下され度い。

(5月15日)